

VOL. 18は、以下の内容でお届けします。

- 臨時国会が開会 参議院議員 進藤金日子(かねひこ)
- 自民党政務調査会農林部会副会長、参議院東日本大震災復興特別委員会理事を拝命いたしました
- 臨時国会提出予定法案について
- 漁港漁場漁村整備の現地を調査
- 活動報告集「参議院議員 進藤金日子 国政の歩み」を発刊しました
- 「宮崎まさお」さんを宜しくお願い致します
- 活動状況（2018.10.1～10.31）

---

■ 臨時国会が開会

参議院議員 進藤金日子(かねひこ)

10月24日から12月10日までの48日間を会期とする第197回国会(臨時会)が始まりました。

7月豪雨や北海道胆振東部地震等の災害への対応はもちろんのこと、一連の災害を踏まえた国土強靱化の取組みやTPP・日EU・日米TAG等経済協定対策、水産制度改革、新たな森林管理システムの制度設計等農林水産業を始め、国内外の諸情勢に対する課題も山積しています。

今国会も皆様方からのご意見・要望等を踏まえ現場主義に徹し、元気に頑張っていきます。

=====

■ 自民党政務調査会農林部会副会長、参議院東日本大震災復興特別委員会理事を拝命いたしました

安倍改造内閣の発足を受けて、自民党の役員人事が行われました。私は、政務調査会の農林部会副会長を拝命しました。身に余る光栄ですが、「強い農林水産業」と「美しく活力ある農山漁村」を創るために活動している私としては、精一杯この役職を務めて参る所存です。

また、参議院では今国会は、議院運営委員会、農林水産委員会、東日本大震災復興特別委員会、国民生活・経済に関する調査会に所属することとなりました。なお、東日本大震災復興特別委員会では、理事を拝命いたしました。

いずれの役職も国民生活にとって重要なものとなりますので、精一杯務めて参りますので、皆様からの忌憚のない意見や要望等を頂ければ幸いです。

=====

■ 臨時国会提出予定法案について

今臨時国会では、農林水産関係の法案が2本提出される見込みです。

水産改革に対応した、新たな資源管理システムの構築、漁業許可制度の見直し、海面利用制度の見直し等を内容とする「漁業法等の一部を改正する等の法律案」及び日EU経済連携協定等に関連した、「特定農林水産物等の名称の保護等に関する法律の一部を改正する法律案」（いわゆるGI法）が提出される見込みです。与党内での手続きが了されれば、法案が提出されることになります。法案についてのご意見等があればお寄せください。

※概要等は以下のアドレスから参照願います。

○漁業法等の一部を改正する等の法律案及び法案のポイント

<http://www.shindo-noson.jp/HotNews/HN10VOL18/Hotnews10-1.html>

上記のpdfは以下から入手して下さい。

<http://www.shindo-noson.jp/info/VOL18-1Gyogyohou.pdf>

○特定農林水産物等の名称の保護等に関する法律の一部を改正する法律案

<http://www.shindo-noson.jp/HotNews/HN10VOL18/Hotnews10-2.html>

上記のpdfは以下から入手して下さい。

<http://www.shindo-noson.jp/info/VOL18-2TokuteiNouRinSui.pdf>

=====

#### ■ 漁港漁場漁村整備の現地を調査

自民党漁港漁場漁村整備促進議員連盟の一員として、10月20日～21日に長崎県及び佐賀県下の漁港漁村の現地調査に参加しました。

長崎市の長崎漁港、平戸市の館浦漁港・新獅子漁港、松浦市の松浦漁港・青島漁港・阿翁浦漁港、呼子町の呼子漁港の現地を調査し、多くの方々との意見交換を行いました。漁業者の所得向上とともに、水産加工業などの関連産業の振興を通じた地域の所得向上を図る上で、漁港、漁場の整備が不可欠です。また、今後の漁港整備に当たっては、作業の効率化に加えて徹底した衛生管理が求められます。水産物の消費減退の傾向が続いていますが、我が国の人口の減少と食生活の変化を踏まえると、和食に必要な水産物の消費拡大を図りつつも、インバウンド対応、輸出対応を積極的に進めていく必要があります。

その基礎的条件である漁港と関連施設整備の質の向上と予算の安定的確保が不可欠です。意見交換では、漁協青年部や女性部の素晴らしい活動や前向きな意見もいただきました。「国の補助金で漁港や施設を整備してもらい、生産性と収益性を高めて、しっかりと税金でお返しし、そして地域を守り次世代につないでいくことが我々世代の責任」だと語っていた漁業者の熱い眼差しが忘れられません。

こうした思いを政策に反映していかなければならないと覚悟を新たにしたところです。私からは、「農山漁村の維持、振興なくして、我が国の国土の維持はなし」と強く訴え、思いを一つにさせていただいたところです。

二日間の調査では、漁港・漁場整備の必要性はもとより、漁船リース緊急事業のニーズが高いことや燃油高騰が経営に与える影響の大きさなどを肌感

覚で実感できました。今回の調査に当たり、水産庁、長崎県、佐賀県、平戸市、松浦市、全漁連、県漁連、関係漁協の皆様にご対応いただき感謝です。本当に有り難うございました。

=====

■ 活動報告集「参議院議員 進藤金日子 国政の歩み」を発刊しました

皆様から御支援を賜り、国会議員として2年が経過しました。この間の活動を「参議院議員進藤金日子 国政の歩み」(第191回国会～第196回国会)として取り纏め発刊しました。

委員会での発言議事録や自民党の部会での発言要旨、研修資料、広報関係等を盛り込んでいます(A4判:約270ページ)。

希望される方には、無料で送付しますので、国会事務所まで連絡ください。

〈進藤金日子国会事務所〉

〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1 参議院議員会館719号室

☎ 03-6550-0719 FAX 03-6551-0719

=====

■ 「宮崎まさお」さんを宜しくお願い致します

私の同志である「宮崎まさお」さんが全国をまわり政治活動に拍車をかけています。宮崎さんは、私と約30年間にわたり農林水産省で共に汗を流した同志です。宮崎さんは、「農山漁村と土地改良は未来への礎」だと強く訴えています。私は、「農山漁村と土地改良は日本の命綱」だと訴えています。我が国の食料生産基盤と国土を次世代に引き継いでいくには、「命綱」を守り「未来への礎」としていくことが不可欠です。

二人とも、「強い農林水産業」と「美しく活力ある農山漁村」を創るため、現場主義、地域主義を念頭に活動していますので、ご支援を宜しくお願い致します。何かご意見・ご要望がありましたら、どちらでも構いませんのでお聞かせください。

※ 宮崎雅夫(まさお)さんのプロフィール・活動状況等は以下のアドレスから参照願います。

<http://miyazaki-noson.jp/>

=====